

行政視察報告

委員会名	議会運営委員会
視察日	平成29年4月25日（火）
視察先	愛知県半田市
視察委員	筒井 たかひさ 委員長 黒柳 じょうじ 副委員長 安 西 俊 一 議長 平田 みつよし 理事 中 村 しんご 理事 中 村 けいこ 理事 大 高 拓 理事 上 原 ゆみえ 委員 く ぼ 洋 子 委員 出口 よしゆき 委員 秋 本 とよえ 委員 伊藤 よしのり 委員

調査項目	議会運営及び議会改革について
事業概要	平成23年3月に議会基本条例の制定し、市民との情報共有や市民への説明責任を果たすため、議会報告会を開催するなど、開かれた議会を目指した取り組みを進めている。
視察内容	<p><主な議会改革の実施項目></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各常任委員会でのテーマを設定した調査・研究 ○ 議会での事業評価 ○ 議会勉強会 ○ I C T機器の活用 ○ 政務活動費の運用 ○ 議会報告会
主な質疑内容	<p>（問）個別施策評価シートは、1つの施策ごとに全議員が個別に評価しているのか。</p> <p>（答）はじめに、各常任委員会で設定したテーマを委員会所属の議員が各々評価する。その後、委員会ごとに評価シートをひとつにまとめる。</p> <p>（問）議会での事業評価と行政の事務事業評価の違いはなにか。</p> <p>（答）各々の事務事業を評価するのではなく、総合計画の個別施策を実現するために、何が足りないか、どうすれば良いかという視点から評価している。</p> <p>（問）事業評価の施策選定で、意見の相違はないのか。</p> <p>（答）総合計画の中で、ほとんどの委員が、進捗が遅れていると感じる施策を選んでいる。最終的に議会の提言としてまとめるので、あまり意見が分かれるということがない。</p> <p>（問）政務活動費の領収書等の公開はしているのか。</p> <p>（答）計画書や報告書、領収書等は全て公表しているため、市民もチェックが可能である。</p> <p>（問）議会報告会は全議員が参加するのか。</p> <p>（答）議会基本条例に、全議員参加のもと議会報告会を開催すると定められている。議員の約半数が壇上に並び、その他の議員は、受付やマイク係を受け持ち、自ら運営している。</p> <p>（問）議会報告会で新庁舎建設計画も報告されているが、賛否両方の意見がでたと思う。意見を集約するのが難しいと思うが。</p> <p>（答）新庁舎建設の際は、賛否両方の意見があり、名指しでどう考えているのかを聞かれたこともある。議会報告会はいくまで報告会であって、市民の要望を受け入れる会ではないというのが前提である。ただし、素晴らしい意見があった場合には、議員総会でその意見について話し合い、市側に申し入れを行った例もある。</p>

行政視察報告

委員会名	議会運営委員会
視察日	平成29年4月26日（水）
視察先	三重県松阪市
視察委員	筒井 たかひさ 委員長 黒柳 じょうじ 副委員長 安 西 俊 一 議長 平田 みつよし 理事 中 村 しんご 理事 中 村 けいこ 理事 大 高 拓 理事 上 原 ゆみえ 委員 く ぼ 洋 子 委員 出口 よしゆき 委員 秋 本 とよえ 委員 伊藤 よしのり 委員

調査項目	議会運営及び議会改革について
事業概要	平成23年、議会基本条例の制定を主たる目的とした全議員で構成する議会改革特別委員会を設置し、平成24年11月に議会基本条例を制定した。議会改革特別委員会の中に作業部会を設置し、議会改革に関する検討項目について、具体的に審議している。
視察内容	<p>1 議会改革の推移</p> <p>平成22年 議会改革検討委員会設置、松阪市議会における問題点・改善項目を速やかに実践するため議長に提言書を提出。</p> <p>○議案に対する議員個人の賛否の公表 ○一般質問方式の選択制導入 ○正副議長選挙における立候補制の導入 ○議員の審議会等委員へ就任辞退 ○決算審査の分科会方式の導入</p> <p>平成24年 議会基本条例の制定に向けて、全議員で構成する議会改革特別委員会を設置。委員会17回、作業部会61回を開催した。パブリックコメントや市民説明会、議会改革フォーラム等を行い、議会基本条例制定。</p> <p>○議会からの情報発信 ○議会報告会 ○市民との連携 ○市長による政策等説明 ○反論権及び反論権 ○政策立案、政策提案及び政策提言 ○議員間討議による合意形成 ○政策討論会 など</p> <p>2 今後の課題</p> <p>○恒久的な議員定数の検討 ○議決事件の追加 ○通年議会の検討 ○1日1委員会の検討</p>
主な質疑内容	<p>（問）正副議長選挙は何年ごとなのか。また、立候補者は何人くらいか。 （答）1年ごとに行い、2～3人の立候補がある。</p> <p>（問）反論権は、市長が持っているのか。 （答）市長だけでなく、当局が持っている。教育長が反論権を使ったこともある。</p> <p>（問）本会議の議員間討議は通告制なのか。 （答）議員間討議は、議員間の合意形成を図るために行っている。本会議では、原則通告制とし、委員会では質疑・意見の対象になったものを議題とする。討議に参加するかしないかは議員個人の判断による。</p> <p>（問）政務活動費はどこまで公開しているのか。 （答）収支報告書等はホームページで掲載しているが、領収書については、情報公開請求に基づき公開する。</p> <p>（問）代表質問と一般質問の持ち時間について。 （答）質問と答弁時間も含め1人50分。代表質問は、会派及び会派に属しない議員ごとに行われ、会派の持ち時間は、所属人数に50分をかけたものとなる。</p> <p>（問）議会報告会のアンケートに書かれている質問の規制とはどういうものか。 （答）議会報告会は、予算決算の委員会審議を中心に報告し、議会全体で取り組んでいる。報告会では、議員個人の意見は言えないため、そこは了承してほしいとお願いしている。</p>